

ケアハウス山科 だより

2025

2

Vol.312

開設二十六周年記念挨拶

二月一日はケアハウス山科の開設記念日でございます。平成十一年に開設し、おかげさまでこの度二十六周年を迎えることができました。これまでの間、京都市をはじめ、入居者のご家族の皆様、関係者の皆様には事業運営全般にわたり、多大なご支援とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。また、入居者の皆様には、ケアハウス山科の日常の施設運営に対して、ご協力いただき改めて感謝申し上げます。

昨年から猛威をふるっておりましたインフルエンザについては、少し落ち着きを見ているようですが、施設では新型コロナウイルスなど、その他の感染症も含め感染を拡げないよう「かからない」「うつさない」を基本に、平時よりまん延防止に向けた感染対策を継続しております。

一方でコロナ禍を経て、施設内では行事や各種クラブなど、以前と形を変えて工夫をしながら開催をしているところです。施設といたしましては、入居者同士の関わりや対面の場をつくることは非常に大切だと感じておりますので、引き続き、顔を合わせコミュニケーションが取れる機会も増やしていければと考えています。

入居者の皆様が、施設の生活に満足していただけているのかを念頭に置きながら、施設運営を行っております。そのうえで、皆様の満足度を上げるためには、ご意見やご要望を反映させていくことが必要不可欠です。皆様からの貴重なご意見をお聞きしながら、様々な行事やクラブ等の提供にも繋げていきたいと考えております。これからも施設に対して忌憚(きたん)のないご意見ご要望をいただければと思います。

今後も施設内外の感染状況に鑑みつつ、入居者の皆様の安心した生活を守ることを優先に、皆様の日々の生活に少しでも潤いあるサービスを提供できるように、自立した生活に向けたサポートを職員全員で取り組んでいきたいと思っております。

引き続き、関係各位の皆様には変わらぬご支援と共に、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人 協和福社会
ケアハウス山科

施設長 林 忍夫

「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします



2月の予定

- ◆2/1（土）開設記念日／行事食
昼食のお時間を通常より延長してご提供
 <<1部>>11時30分～12時15分
 <<2部>>12時25分～13時10分

 ◎午後からは、感染対策を講じたうえで
 『カラオケ大会』を行いました
- ◆2/23（日）『誕生者を祝う会』



3月の予定

- ◆3月『誕生者を祝う会』



施設からのお知らせ

- ◆3/11（火）『シェイクアウト訓練』（9:30～）
京都市では東日本大震災を風化させないため、シェイクアウト訓練を実施しています。地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練であり、一定の場所に集まる必要もなく、参加の意思さえあれば「場所を問わない」という特徴を持っています。加えて京都市では、『プラスワン訓練を実施しましょう』を推奨しています。これは、①【家具、棚、などの転倒を防止する対策をとりましょう】、②【非常食、飲料水を備蓄しましょう】という内容。施設からも何度もお伝えしている内容です。地震発生時、自分の身を守るためには、日頃からの訓練と意識が必要不可欠です。皆様も災害への“意識”と“備え”をお願いいたします。
- ◆4月『健康診断』の実施を予定しています。
詳細は決定次第、掲示物にてお知らせいたします。尚、健康診断については、かかりつけの医療機関で受けて頂いても結構です。その場合は、事前にお知らせ頂きますようお願いいたします。

◆◆◆◆◆お知らせとお願い◆◆◆◆◆

居室内での電気ストーブの使用は禁止されています！

運営規定の第16条3項（専用居室）において、『居室では、電気ストーブ、石油ストーブ、ライター、マッチ等火気の使用を禁ずる』とあります。コラムでも触れていますが、火災の原因となるためです。今一度ご確認くださいませようお願いいたします。



施設の様子

2月1日(土)『開設記念日』

おかげさまで、ケアハウス山科は26回目の開設記念日を迎えることができました。

入居者様には、日頃よりケアハウス山科の施設運営に対しまして、ご理解とご協力いただき、改めまして感謝を申し上げます。

ささやかではございますが、昼食に開設記念の行事食を召し上がっていただきました。



おやつの中には
「紅白まんじゅう」

【メニュー】

- お造り盛り合わせ
- 天ぷら盛り合わせ
- 茶碗蒸し
- きゅうりとじゃこの酢の物
- フルーツ

午後からは感染対策をしっかりと行いつつ、
『カラオケ大会』を開催！

歌を歌うことも聴くこともお好きな方が多く、
たくさんのお入居者様に楽しんでいただきました。



入居者様のリクエストで
谷村新司の『昴』を
熱唱する施設長！
入居者様と職員が一緒になって
楽しい時間をすごしていただきました♪

Pickup 『記念品贈呈』

「夜間の転倒を防ぎたい」そのような思いから、今年度の記念品は
『足元灯』を皆様に贈呈させていただきました。

こちらは、夜間暗くなった時だけ点灯し、朝に明るくなると自動で消灯
するため、電源の入切のお手間もなく、また、コンセントに差すタイプ
で電池交換も不要なうえに、電気代は月に約2円程度。

加えて、足元はほんのり灯されるのですが、夜間眩しくて眠れない…と
ならない程度の明るさです。夜間お部屋での転倒防止に役立ちますように。



職員あれこれ

エッセイ

皆さまこんにちは。介護職員です。

皆さんは美術館に行かれるでしょうか？

私は若い頃、芸術とは無縁でしたが今は好きな芸術家があります。

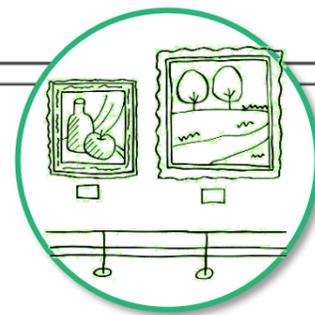
江戸時代の京の奇想の画家、伊藤若冲です。この方を知ったのは、相国寺の美術館

でした。鶏を題材にされるのが有名ですが、『動植綵絵』を見た瞬間に魅了されました。なぜか画集も買って美術展にも足を運ぶことに…。

若冲は、錦市場の青果問屋の家業を引退して画家に転向されましたが、途中、五条市場の工作で錦市場が存続の危機に陥った時、町年寄として奔走し危機を救ったため、今では錦市場の店のシャッターなど至る所に若冲の作品が表現されています。

2023年に祇園祭山鉾巡行を見に行き、長刀鉾の後ろの装飾「見送」に動植綵絵の1つ「きょくじつほうおうず旭日鳳凰図」を偶然見かけた時、京都の歴史や芸術の奥深さをまさに実感しました。

皆さんの中には、美術や芸術をお好きな方もおられるかもしれません。よろしければ、今度お話を聞かせてくださいね。



日々是好日

コラム

居室内での電気ストーブの使用は禁止されています！

ケアハウス山科では運営規定の第16条3項（専用居室）において、『**居室では、電気ストーブ、石油ストーブ、ライター、マッチ等火気の使用を禁ずる**』と定めています。では、それはなぜなのか？

寒い冬の時期に欠かせない暖房器具には、電気ストーブ、石油ストーブ、ガスストーブなど様々な種類があり、エアコンやファンヒーターも暖房器具の一つです。

しかし、使い方を誤ると火災の原因となります。暖房器具火災は、常に火災原因の上位に入り続けています。中でも電気ストーブは、給油の必要もなく手軽に部屋を暖められるため「使用したい」と思われる方もいらっしゃるのかもしれませんが。ただ…

過去に発生した京都市内における暖房器具火災の**約7割**は**電気ストーブ**が原因となっており、**中には亡くなった方もいらっしゃいます**。

火災の発生原因は、ほとんどが布団や衣類などの燃えやすいものが接触したことによるもので、『**干していた洗濯物が落ちて火災となった**』や『**近くに置いていたものが接触した**』という事案。また、ストーブが不完全燃焼を起こすと一酸化炭素を発生し、中毒症状を引き起こすことがあります。一酸化炭素中毒にならないよう、取扱説明書に従い適切に換気を行うなど注意しなければいけません。そのような理由などから、電気ストーブや石油ストーブの使用は禁止しています。もちろん、その他の暖房器具であっても、火災の原因になりかねませんし、使用にあたっては十分注意する必要があります。

規則を破ることだけでなく、すべての入居者様の**大切な命**にかかわる重大な事故を引き起こさないよう、今一度ご確認とご理解いただきますようお願いいたします。

